

# 達生堂グループに 44 人が入職

## 思いやりとチームワークで

達生堂グループの合同入職式が4月1日に開かれ、城西病院に26人、社会福祉法人達生堂「ヒューマン・ハウス」に5人、「すばる」に8人、ショートステイ「みぶの杜」に1人、そして外国人技能研修生の3人と事務職の1人、計44人の職員が入り、新しいスタートを切りました。

入職式で多田正毅理事長が、医療法人、社会福祉法人、公益財団法人の3つの法人を核に、医療・福祉の幅広い分野で活動している姿を紹介し、「地域に根付き、社会貢献を行ってきている。思いやりと優しさでチームワークで、さらにグループを発展させてほしい」とあいさつしました。白石裕比湖院長は「仕事を行う上で困難に出会うこともある。チームで仕事をし、一つ一つの困難を乗り越えて、さらに発展していきたい」とあいさつしました。入職者を代表し看護部の鮎川穂華さんは「患者さま、ご家族との出会いを大切に、患者さま、ご家族が安心できる環境を作れるよう日々精進したい」と抱負を語りました。

また、功績のある職員に送られる「達生堂賞」が、介護老人保健施設「すばる」の塚田光子さんに贈られました。塚田さんは、早朝に徘徊しているお年寄りに気付き、お年寄りに付き添って無事に家族のもとに戻すことができたといいます。

2019年4月1日



達生堂賞を受賞した塚田光子さん

